



ききょうだより

令和2年
12月23日
第9号

教育目標『磨き 輝き 未来をともに拓く』

校長 山田 和弘

思いやりのある子 「わたしのあんしん宣言」 ～後期執行委員会 “安心・安全な美山小を目指して”～

人権教育における行動力の育成を図るための活動『ひびきあい活動』に、全校が取り組みました。本年度は、感染症予防対策を講じての実施となり、執行委員が、校内放送を使って各学級の取組を発表する“あんしん集会”を行いました。

1年生：1日3人にあいさつしよう。

2年生：ちくちく言葉は言わない。

あったか言葉の木を大きくしよう。

3年生：あいさつを広げよう。環境を整えて気持ちよく過ごせるクラスを目指そう。

わかば：ふわふわ言葉で、ありがとうの木を大きくしよう。

あおば：安心して過ごすために、あいさつ、やさしさ、ふわふわ言葉をがんばろう。

4年生：自分や仲間のよさをたくさん見つけよう。輝きの木に花を咲かせよう。

5年生：かがやき見つけで思いやりの木を大きくしよう。仲間の声に応じて、一緒に声をかける呼応を大切にしよう。

6年生：1日1枚以上、かがやき見つけを書き、仲間のよさを見つけよう。

自分のよさを見つけ、自信にしよう。

3年生では、この取組が終わっても、学級だけでなく、美山小学校からいじめがなくするように、あいさつ・整理整頓を続けていくと決めました。

誰もが安心して生活できる美山小を目指して、これからも継続して取り組みます。



「授業を通して、人の心を感じて自分はどうなのか、理解していけることはいいことだと思います。人の痛みに気付ける人になってほしいです。」

「子供に、人と自分が違うのは、当たり前であって、自分らしくするのが一番いいんだよと伝えました。個性や環境など、違いがあって当たり前なんだと思える子に育てられるよう、家庭でも話していきたいです。」

「いじめは、いじめられた側もいじめた側も、心に傷が残るということを知りました。一人で悩んで抱え込んでしまうことが一番怖いと思います。SOSを発信できる環境にしなければと思います。」

「生きていく中では、常に自分がどちらの立場（いじめる側、いじめられる側）にもなりうる。悲しい思いをしたのなら、絶対に誰かに同じ思いをさせてはいけなくて話しています。心の中で『大丈夫かな、気になるな。』と思っても、言葉に出して『大丈夫？』と言わなければ、相手には伝わらないよと話しました。」

～ひびきあい活動（道徳の時間）保護者の方の感想より～

進んで学ぶ子 1人1台端末の可能性

～ICT機器を主体的に使いこなす力の育成、情報モラルの確かな理解～



市内全小中学校に、GIGAスクール構想に基づく児童生徒への1人1台端末（タブレット）の配付が始まりました。1月中には、全学年の配付が完了します。現在、市内の各校の情報教育担当職員を対象とした、タブレットを活用した授業実践についての研修会が行われています。本校職員も、1～2月の導入に向けて、研修を始めました。大型モニターに映して提示していた資料が、個々のタブレットで見ることができたり、児童が作成した資料や作品をお互いに共有できたりと、様々な可能性が広がります。

これからの社会に欠かせなくなる、様々な情報端末（タブレット・スマホなど）ですが、現在、ご家庭でも活用してみえると思います。先週、2～6年生に対し、今年度2回目の情報モラル指導を行いました。（1年生は、担任が説明しました。）正しい情報を選択する力、相手の気持ちを思いやった発信、個人情報の扱い、家庭での約束づくりなど、これからの社会を担う子供たちに、情報モラルをしっかりと意識して、情報機器を活用する力、

“情報機器（ICT機器）を主体的に使いこなす力”を学校・家庭が手を取り合って育てていきましょう！